

SLAC 国立加速器研究所のパーシス・ドレル所長、来年退任へ（11月1日）

SLAC 国立加速器研究所（SLAC National Accelerator Laboratory）は1日、同研究所のパーシス・ドレル所長（Persis Drell）が、来年夏をめどに退任する意向であることを発表した。同研究所は、エネルギー省（Department of Energy）が所有し、同省との契約の下でスタンフォード大学（Stanford University、カリフォルニア州）が運営している。コーネル大学（Cornell University、ニューヨーク州）の素粒子物理学者であったドレル氏は2002年に同研究所の研究部副部長に就任し、2007年12月から同研究所の所長を務めていた。ドレル氏は退任後、再び研究・教授職に復帰する予定である。

Science Insider, *Persis Drell to Step Down as Director of SLAC National Accelerator Laboratory*

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2011/11/persis-drell-to-step-down-as-director.html>